

## 24 年 7 月 3 日 町連女性部会日帰り研修会

日 時 7 月 3 日 (火) 08:30~17:30  
場 所 小樽市、仁木町、積丹町、余市町  
参加者 女性部会員 40 名、町連三役 3 名

恒例の標記研修会が、いい日よりの中、積丹半島の神威岬までの往復ルート  
の各施設を見学、景色を眺望しながら行われました。

### ○ 田中酒造亀甲蔵 (小樽市信香町)

酒という字は。酒壺を表わす“酉”が元字。十二支の 10 番目  
で 10 月。このころ穀物が実り、酒造りが始まることから、  
酒の月とも言われ、現在では 10 月 1 日は日本酒の日と  
なっています。

一応研修ですから・・・何が？汗



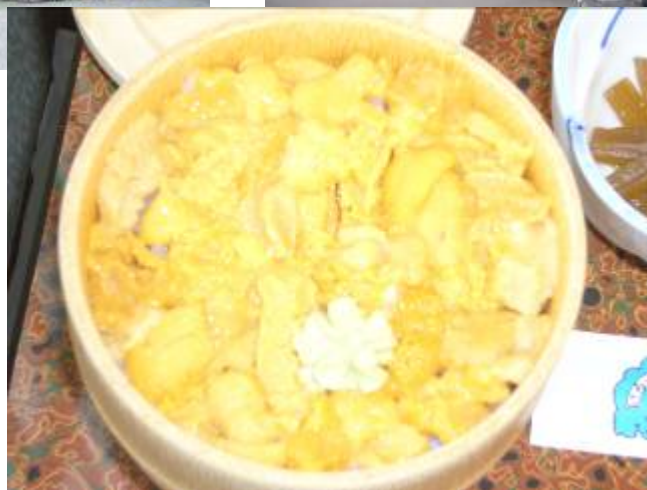
○ 仁木きのこ王国（仁木町）



○ 食事 りんこう（積丹町入舸町）



とっても  
美味しかったです



○ 積丹岬（島武意海岸からの眺望）



超絶景です

私たちとどっちが綺麗！？

ん～コマッタなあ

いや、どちらも綺麗で～す

○ 神威岬（日本の渚 100 選）



義経北方伝説の地  
義経はいつここに？  
そしてチャレンカの  
祈りは？



綺麗！という声に思わず振り向いたところ、  
ここにも綺麗な姿が・・・ がははは

つぶやき：研修会は「きた観光バス」を使って行われました。バスガイドさんから教えていただいた話題を少々。

1 積丹半島の海岸からの眺望について

ここ十数年でガラッと変わってしまいました。海岸沿いの道が海に接し危ないことやトンネルの劣化などから、新しいトンネルが陸側に長く造られたことにより、海岸線がほとんど見えなくなってしまいました。

ほんとうに海や奇岩を見ることのできる場所が限られていました。少し残念です。

2 4世代トンネル？について

昔は海沿いに造られたトンネルが、徐々に陸側へと更新されていったことにより、海側から明治、大正、昭和、そして平成の各時代に造られたトンネルが並んでいるところがありました。

3 小樽運河について

昔、ニシン漁が盛んだったころ、ニシンを加工するのに港から丘まで荷揚げをするのに、多くの人手が必要とされました。そこで、この人件費を減らそうと、運河による輸送手段を考えたそうです。しかしながら、戦後の車社会の到来により、その役目を終える時期となりましたが、市民の歴史的建造物に対する保存運動により、その一部が残されました。

4 毛利衛元飛行士について

ご存じのことと思いますが、毛利さんは余市町の出身。宇宙記念館にも皆さん行かれた方もいらっしゃると思いますが、この近くにお風呂屋さんがありますが、毛利さん、実はお風呂屋さんの息子さんでした。(私と同じ)

ということで、単なる見学会ではなく、しっかりと研修も行ってきましたので、ここにご報告します。ガイドさん、ありがとうございました。